

令和7年度 大津市介護人材確保対策事業



介護人材の確保及び生産性の向上にかかる取組の推進

令和6年度までの介護人材確保対策にかかる取組を検証しながら、働き続ける人を増やしていく取組に重点をおいた事業を実施

■介護の仕事の重要性や魅力を発信

- ・介護職員による学校での出前講座の実施
- ・おおつ介護フェスタ2025の開催

■介護職の確保に係る取組の推進

- ・おおつ介護に関する入門的研修
- ・介護職員との交流会

■介護事業所等で働き続ける人を増やしていく取組の推進

- ・おおつ介護事業所オンラインセミナーの実施
- ・介護職キャリアアップ促進給付金
- ・新人介護職員フォローアップ研修会
- ・大津市訪問介護等サービス提供体制確保支援事業

参考：「おおつ障害者プラン」に基づく、障害福祉人材の確保・定着の取組

令和7年度から、介護・福祉人材確保対策室において、障害福祉分野の人材確保事業を実施

- ・障害福祉サービス事業所等キャリアアップ促進給付金
- ・その他、障害福祉分野での学校での出前講座の実施や、おおつ介護フェスタでのブース出展等を予定



■介護職員による学校での出前講座の実施

(1) 唐崎中学校

実施日時：令和7年6月3日（火） 5－6時間
参加生徒：2年生（3クラス 約100名）
講師：特別養護老人ホーム 真盛園
内容：高齢者の気持ちを理解しよう（人権学習）

(2) 石山中学校

実施日時：令和7年6月23日（月） 4・5・6時間
参加生徒：2年生（約30名／学級×3）
講師：特別養護老人ホーム 千寿の里
内容：高齢者との接し方について（職業体験前事前学習）

(3) 北大路中学校

実施日時：令和7年7月10日（木） 2・3・4時間
参加生徒：2年生（約24名／学級×3）
講師：シルバーの森 タ照苑（グループホーム）
内容：高齢者との接し方について（職業体験前事前学習）

(4) 今後の予定

中学校だけでなく、高等学校での実施に向けて営業
障害福祉分野での講座の持ち方についての検討

参考：唐崎中学校 実施結果

■出前講座の流れ

①介護職員による講話

介護の仕事内容や施設の代表的な事業を、問題を出しながら説明

②グループに分かれての体験

- ・高齢者疑似体験
- ・豆つかみ
- ・車いす移動

③まとめ（振り返り）

体験を終えた生徒からの質問と講師からの回答

④生徒から講師のみなさんへのお礼のことば

講師へのお礼とともに、「今回の体験を通じて、高齢者の大変さがわかった。高齢者を見かけたら手を差し伸べようと思う」「普段から高齢者が困っていたら手伝ってあげたい」との感想が述べられた。

■受講者アンケート結果

- ・介護の仕事への興味・関心

【受講前】とても持っている、少し持っている 20%



【受講後】高くなった・少し高くなった 75%

- ・中学生が思っている「介護の仕事」のイメージ（複数回答）

人の役に立つ仕事、体力的にきつそう	…40人
精神的にきつそう	…39人
難しそう	…38人
大事な仕事	…34人
やりがいのある仕事	…33人 等

■おおつ介護フェスタ2025

介護及び介護の仕事に対する関心を高め、広く市民にその魅力を発信することを目的に、「おおつ介護フェスタ」を開催

日時：令和7年10月25日（土） 10～15時

場所：ランチ大津京

主催：おおつ介護フェスタ実行委員会（構成団体：滋賀県老人福祉施設協議会大津ブロック／滋賀県介護老人保健施設協会／大津市介護サービス事業者協議会／大津市社会福祉協議会／大津市）



■現地見学会付き「おおつ介護に関する入門的研修」と、介護職員との交流会

(1)基礎講座＋入門講座

介護に関する知識や、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な知識を学ぶ研修として、基礎＋入門講座（21時間）を実施

・9月8日（月）～20日（土）の5日間

(2)現地見学会（希望者のみ）

- ・9月17日（水） 14：00～16：00
- ・見学される介護サービスや介護職員の仕事についての説明
- ・実際に介護職員が仕事をしているところの見学

(3) 匠から介護現場を学ぶ～介護職員との交流会～

- ・9月20日（土） 12：30～13：30
- ・参加者：入門的研修の受講者（一般からの参加も可） 20～30名程度
- ・介護職員：3～5名程度
- ・導入（全体） → 質問形式の対話（少人数のグループ） → まとめ（全体）
 - 【導入】介護職員の自己紹介、介護のスキルや認知症の方への上手な対応など入門的研修を受講した方に関心が高い介護技術の話題
 - 【対話】少人数に分かれて、普段している仕事の紹介や、職場の雰囲気、労働環境・条件など、参加者からの質問に答える形での対話（メンバーを入れ替えて2回）
 - 【まとめ】介護職員になったきっかけや仕事のやりがいなど

■かいご・ふくし職場説明会（滋賀県介護・福祉人材センターとの共催）

日時：令和7年9月20日（土） 13：30～16：00

場所：市民文化会館

参加事業所：8法人（予定）

介護事業所等で働き続ける人を増やしていく取組の推進①

みらいに輝くおおつの介護



■おおつ介護事業所オンラインセミナーの実施

職員の定着や離職防止にとって欠かせない職場環境づくりのための人材育成や業務改善、働き方改革のほか、最新の介護情報など業務に役立つテーマを選び、オンライン形式のセミナーを実施

- ・L I V E 配信 4回 / 動画配信 2回 (1回90分程度)
- ・9月 セミナーの内容調整
- ・10～2月 セミナー実施

■介護職キャリアアップ促進給付金

市内の介護サービス事業所等で働きながら資格を取得し、資格取得後も有資格者として継続勤務している職員への報償として給付金の支給

- ・支給対象者：①市内の介護サービス事業所等に勤務しながら第37回（令和6年度）介護福祉士国家試験に合格し、資格登録以降、市内の介護サービス事業所に継続して6カ月以上就労している方
②第27回（令和6年度）介護支援専門員実務者研修受講試験（ケアマネージャー試験）に合格し、介護支援専門員証の交付後、大津内の介護サービス事業所等にケアマネージャーとして継続して6カ月以上就労しているも方
③令和6年10月以降の喀痰吸引研修（第1号研修、第2号研修、第3号研修）を修了し、「認定特定行為業務従事者認定証」を登録してから、市内の介護サービス事業所に継続して6カ月以上就労している方
- ・給付基準額：30,000円
- ・申請期限：令和8年3月31日（火）

■新人介護職員フォローアップ研修会 【新規】

同じ大津の介護職場で働く職員同士の交流を図ることで、早期離職防止を図ることを目的に、新人介護職員を対象としたコミュニケーションやよりよい人間関係づくりなど、講義とグループワークで学ぶフォローアップ研修会を実施

- ・日時：令和7年11月中旬（予定）
- ・主に、採用から3年目くらいまでの20代の若手介護職員を対象

介護事業所等で働き続ける人を増やしていく取組の推進②

みらいに輝くおおつの介護



■国庫補助を活用した「訪問介護等サービス提供体制確保支援事業」の実施

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づく令和6年度補正予算（繰越）で示された「訪問介護等サービス提供体制確保支援事業」について、令和7年度6月市議会において補正予算の議決を得ましたので、次の2つの補助事業を実施

(1) 新人ホームヘルパー同行支援事業（予算：1,500千円）

経験年数の長いホームヘルパーが、経験年数の短いホームヘルパーの訪問業務に同行し、技能や技術の向上に向けた指導を行うことに対する事業所への補助

- ・対象サービス：訪問介護事業
- ・対象期間：令和7年6月1日から令和8年3月31日までの同行訪問
- ・ホームヘルパーとしての経験年数が1年未満の介護職員への同行を対象（1年以上の経験があるが数年以上のブランクがある方への同行も対象）
- ・同行支援1回につき2,500円
- ・1事業所あたり30回（上限75,000円）
- ・7月下旬に大津市ホームページにて案内（掲載したことは、事業所宛にメールにて周知）

(2) 介護福祉士取得支援事業（予算：540千円）

事業所の後押しを受け、介護福祉士国家試験を受験する場合に、事業所が負担した受験手数料の一部を補助

- ・対象サービス：訪問介護事業
- ・令和7年度（第38回）介護福祉士国家試験の受験手数料が対象で、合否は問わない
- ・1人18,000円。ただし、受験手数料を事業所が負担している場合のみ対象
- ・予算の限りがあるため、受験申込期間（8/6～9/5）終了後、できる限り多くの事業所を対象とするため、件数把握の事前調査を行う
- ・7月下旬に大津市ホームページにて案内（掲載したことは、事業所宛にメールにて周知）